



東京二期会オペラ劇場 カルメン 地域性や時代にとらわれない普遍的な物語

左=和田朝妃(2/22、24カルメン役) 右=演出:イリーナ・ブルック
写真提供:公益財団法人東京二期会 撮影:寺司正彦

演出家 イリーナ・ブルック 記者会見レポート

演劇界の巨星ピーター・ブルックを父に持つ俊英、日本国内で初演出となる『カルメン』が2月に開幕!

日本での『カルメン』演出は大きなチャレンジ

日本で初めてとなるオペラ演出。イリーナは、日本で『カルメン』を演出することは大きなチャレンジになるという。フランス語の原作、舞台はスペインという作品を、文化背景のまるで異なる日本で、それも日本人歌手だけで上演することは決して簡単なことではない。どのようなビジョンを持って、この作品をつくりあげていくのだろうか。

2025年2月、東京文化会館大ホールにて東京二期会オペラ劇場『カルメン』が上演される。本プロダクションの最大の注目となるのが、演出のイリーナ・ブルック。イリーナは、演劇界の巨星ピーター・ブルックを父に持ち、フランスのレジオン・ドヌール勲章をはじめ数多くの荣誉に輝いている俊英だ。日本では、これまで新国立劇場「ガラスの動物園」などの演出を手掛けてきたが、オペラの国内での演出は今回が初となる。開幕を約1ヶ月後に控えた1月21日(火)、イリーナの記者会見が開かれた。

「オペラ演出で一番大切にしてほしいのはストーリーです。『歌を通して、物語を伝える』ことを大事にしています。そのために、何が必要となるか、また何が邪魔になるかを考えます。今回の上演にあたり、原作で色濃く描かれるスペインという舞台設定は障害になってくると感じました。また、日本になじみがなく、東欧に多いロマの存在を描くのは、人種の問題も含み、ヨーロッパでも難しさがあります。スペインの民族性やロマといった点に重きを置くのではなく、本プロダクションの中

での想像上の世界をつくりあげていきたいです。」

現実の地域性にとらわれず、普遍的なストーリーを目指す意図が読み取れるが、具体的にはどのような舞台設定となるのだろうか。

「時代設定は20〜30年後の近未来で、どこが一箇所に定住せず、誰にも支配されていない土地(中間地帯)を旅して生きている人々の話になります。第1幕の舞台美術は『美しいガレキ』と呼んでいます。衣裳は特定の地域に定まらない無国籍的なものです。映画『マッドマックス 怒りのデスロード』からもインスピレーションをもらいました。世界観をかつちり決め過ぎず、自由な世界を描くことで、『カルメン

が自由である」という視点がより伝わると思います。」

オペラ上演においては、演出家が原典に対してどれだけ手を加えるか、自身の色を出すかが度々話題にあげられる。時には、演出家によるカットや変更が物議を醸すこともあるが、今回はどうだろう。ビゼーによる原作は、台詞入りのオペラコミック形式で書かれているが、イリーナはこの歌以外の台詞の部分をすべてカットするという。

「ふだんストレート・プレイの演出をしているので、台詞の部分がほとんど多くなってしまっているのではないかと心配されました(笑)しかし、全く逆のことをしました。どんなに歌手が素晴らしいとしても、音楽のないやべりが多くなる、歌う時のエネルギーと同等のものにはなりません。台詞をだんだんカットしていきましたが、一部だけ残しても違和感があったので、すべてカットすることにしました。本来、台詞で説明されていた場面も演者の動きなどで表現し、台詞が無くても成立するようになっています。それにより非常にテンポがよくなり、感情もどんどんつながっていくようになりました。新しい目で見えてほしいと思います。」



ピーター・ブルックは2025年に生誕100周年を迎えた。同じく演出家の道を歩むイリーナだが、父との演出方法の違いも語った。

「父の演出方法とはスタイルが全く異なりますが、演出の目的は同じで、『演者をいかに素晴らしい見せられるか』です。父はミニマリストで、何も舞台で一人の演者を光らせることができませんでしたが、私はたくさんの小道具などを使って演者を引き立たせます。自分が俳優としてキャリアを始めたことも大きな違いだと思います。父は演者に何も与えず、ある意味で裸になることを要求しますが、私は演者に何か要素を与えて安心させてあげたいと思うのです。どちらかというと映画のように演出することを重視していて、どこを切り取っても真実味のあるものにしたいたいと思っています。」

昨年11月に東京二期会の歌手とのワークショップが開催された。その時の日本の歌手への印象や指揮の沖澤のどこかについて



記者会見にはタイトルロールの和田朝妃が同席し、意気込みを語った。

「ワークショップを行う前は、日本の歌手について、体が硬くシャイなのではないかなど先入観を

■公演情報
東京二期会オペラ劇場『カルメン』
【日時・会場】
2月20日18時、22日・23日・24日14時
東京文化会館 大ホール
【演出】イリーナ・ブルック 【指揮】沖澤のどか
【管弦楽】読売日本交響楽団 【合唱】二期会合唱団
【出演】加藤のぞみ、城宏憲、今井俊輔、宮地江奈 他
(以上、20、23日) / 和田朝妃、古橋郷平、与那城敬、七澤結 他(以上、22、24日)
【問合】チケットスペース03-3234-999
二期会チケットセンター03-3796-1831

**ワールド
プレミア**